

# 病児保育室だより わかば 第 7 号

わかば病児室  
看護師  
H30年 7 月 / 日

プールが始まるとよくある質問  
「水いぼって、プールに入れるの？」

感染拡大を  
防ごう

病気に関する正しい知識を身につけ、プールに入る当日は、子供たちの体調チェックを念入りに行いましょう。熱、やせき、鼻水がある場合などは、あらかじめ「プールに入水しない条件」を保護者と共有することも大切です。

プール	病名	注意点
OK	アトピー性皮膚炎	ただし、かき壊してじくじくした傷がある場合はプールを避ける。
	アレルギー性結膜炎	かかりつけ医に相談し、症状が安定していればOK。プールの後はよく目洗いを。
	アレルギー性鼻炎	熱などの気になる症状がなければOK。
	水いぼ（伝染性軟属腫）	かき壊している場合は、プールを避ける。また、直接触れないようにし、タオルの共用はしないように。
	滲出性中耳炎	かかりつけ医に相談を。症状が安定していればOK。痛みや発熱があればNG。
	頭じらみ	水泳帽を着用し、子供同士の頭が触れないようにしておけば、プールの水を介して感染することはほとんど無い。
NG	ヘルパンギーナ	症状が出ているときは感染のリスクが高く、脱水症状などの合併症を引き起こす可能性もあるからNG。
	手足口病	症状が出ているときは感染のリスクが高く、脱水症状などの合併症を引き起こす可能性もあるからNG。
	プール熱（咽頭結膜熱）	プールの水を介して感染することが多いので避ける。
	流行性角結膜炎（はやり目）	プールの水を介して感染することが多いので避ける。
	とびひ（伝染性膿痂しん）	感染力が非常に強く、患部の清潔が必要なためプールは避ける。
	下痢	水を介して細菌やウイルスに感染することもあるので、プールは避ける。
	急性中耳炎・外耳道炎	患部の清潔が必要なため、プールは避ける。

※上の表は、あくまでも目安です。園の基準や方針に従って判断して下さい。

## 水いぼでもプールはOK!

プールNGは昔の話。学会や厚生労働省による統一見解「プールOK!」

**昔**

「水いぼがあるとプールに入れません」

**現在**

「大丈夫ですよ!」  
※リスク対策としてNGとする園もあります

**感染対策&マナー**

ばんそうこう (防水パッチ)

ラッシュガード

<貸し借りしない>

プールの後はシャワーで肌をきれいに洗い流す

日本臨床皮膚科医会・日本小児科皮膚科学会・日本皮膚科学会の統一見解(平成27年5月)

当園では泡石けんでお尻を洗い清潔にしてからプールに入ります。

### 先月の病児保育利用数と疾患

利用数 2名

感冒  
急性胃腸炎